

平成27年度 まちづくり推進部 方針書

まちづくり推進部長 高橋 征徳

1. 部の使命（役割）

地域づくり事業と生涯学習やスポーツ振興事業が連動したまちづくり施策を実施して、市民が主役となる地域づくりの推進役になります。

2. 平成27年度における課題（前年度の振り返りから）

- ①横手市民の一体感を醸成して、地域間の垣根を取り払う
- ②地域の個性を活かしたまちづくりの継続的な推進
- ③公民館の地区交流センター化試行の実績と評価・検証

3. 平成27年度の『スローガン』

**地域資源を発掘し、市民にお知らせすることで、
市民に自信を持ってもらおう！**

4. 年度目標となる方針（目標）

- ① 地域づくり事業と生涯学習やスポーツ振興を連携させるシステムを構築する
- ② 市総合計画・財産経営推進計画・地方版総合戦略の策定へ積極的に参画する

5. 重点取組項目

(1)	項目	部局横断による地域局市民サービスの充実
	取組内容	① 地域局職員が広範囲にわたる市民サービス提供を実現する人材育成手法の確認 ② 各部と地域局地域課・市民サービス課の情報共有手法の確認
(2)	項目	生涯学習とスポーツイベントを市民の活気に結びつける
	取組内容	① 地域伝統芸能全国大会等の各種イベントを市民参加のもとに開催する。 ② 公民館の地区交流センター化の将来像を明確に示す。 ③ 地域のお祭りや行事等に市職員が積極的に参加することで、地域を元気にする。
(3)	項目	歴史によるまちづくりとふるさと納税の推進
	取組内容	① 増田の街並みを活用したまちづくりの着実な推進と、まちづくりの視点から地域の伝統や文化を支援する。 ② 応援市民によるふるさと納税を推進する

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況 【現状】

- ① 地域づくり事業と生涯学習やスポーツ振興を連携させるシステムを構築することに関して、既存の地域づくり協議会や地区会議を発展的に解消し、公民館の地区交流センター化の構想を基幹にする新たな地域づくりのシステムについて、先進地視察を実施しながら、検討を重ねた。
- ② 市総合計画・財産経営推進計画・地方版総合戦略の策定に参画するに関しては、毎週火曜日に全ての地域局長等が参加する部内会議を開催し、情報共有を図りながら、地域の特徴を失うことなく市民の一体感を醸成する方向性を確認している。

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

- ① 市教育委員会から市長部局に移管された生涯学習とスポーツ振興について、制度の再確認と教育委員会との連携した事業展開の手法を年度内に確認する。
- ② スポーツ立市よこてや秋田県市町村未来づくり協働プログラム、ゆとりおん大雄の市直営などの年度途中に発生した新たな行政課題に対して、積極的に取り組む。
- ③ 積雪が予測される冬期間中、市民の安心と安全を守る対策をきめ細やかに実施する。

8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

- (1)「部局横断による地域局市民サービスの充実」では、地域局と本庁各部との情報共有を図り、市民サービスの均一化と質的向上を実現することができました。職員個人のスキルアップを目指した研修会への参加率は向上しました。しかしながら、研修の成果を組織の業務力向上につなげることが課題となっています。
- (2)「生涯学習とスポーツイベントを市民の活力に結びつける」では、地域伝統芸能全国大会の横手市開催やふるさと秋田ラン市町村対抗駅伝の実施等により、県内外に来横者に横手市の魅力を堪能いただくとともに、市民のもてなしを評価いただきました。
公民館の地区交流センター化と併せ、地域住民が自主的なまちづくりを推進するための新たな組織のあり方を検討していきます。
- (3)「歴史によるまちづくりとふるさと納税の推進」では、重伝建増田の町並みの保存事業を継続的に実施し、市内の歴史的遺産の発掘作業に着手しています。
さらに、平成27年9月からふるさと納税に寄付者に横手市の特産品を返礼品としてお送りする新たな事業展開を図り、約5000万円の御寄付をいただきました。ふるさと納税の寄付者の皆様には感謝申し上げます。